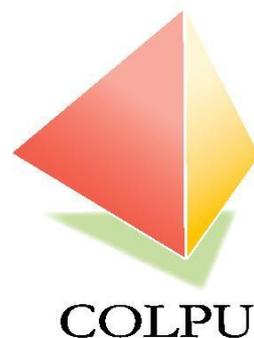


2011（平成23）年度
一般財団法人地域公共人材開発機構
事業報告書



(1) 運営会議の開催

- ・ 6月2日(10:00~12:00)、8月24日(19:00~21:00)、2月28日(15:30~17:30)にキャンパスプラザ京都、龍谷大学紫光館にて運営会議を開催し、各種事業の進捗報告などが行われた。

*2月28日の運営会議については第2回理事会と同時開催とした。

(2) 理事会の開催

- ・ 6月23日(19:00~21:00)、キャンパスプラザ京都にて第1回理事会を開催した(理事12名中8名の参加があり成立)。
内容としては、平成22年度事業・決算報告、平成23年度事業計画・予算計画報告、社会的認証業務について、慶弔取扱規程等について協議があり、承認された。
- ・ 9月30日(9:30~11:30)、キャンパスプラザ京都にて臨時理事会を開催した(理事11名中7名の参加があり成立)。
内容としては、各種事業の受託契約について、共通プログラムの履修条件について、社会的認証に係る各種規定及び様式等について、非常勤職員規程について、中長期計画策定等について協議があり、承認された。
- ・ 2月28日(15:30~17:30)、龍谷大学紫光館にて第2回理事会を開催した(理事11名6名の参加があり成立)。
内容としては中期的展望について、次年度事業計画案及び概算予算案について、来年度の役員改選について、定款変更について、地域公共政策士の手続き規程及び要項について、謝金規程の改定について、地域公共人材大学連携事業からの要請と回答等について協議があり、承認された。

(3) 地域公共人材開発機構あり方懇談会、

あり方懇談会ワーキングの開催

- ・ 11月4日(10:00~12:00)、キャンパスプラザ京都にてあり方懇談会を開催した。地域公共人材開発機構の自主財源確保や今後の事業展開等について意見交換がされた。
- ・ 2月8日(10:00~13:00)、2月15日(10:00~13:00)龍谷大学紫光館にてあり方懇談会ワーキングを開催した。中期計画について議論がなされた。

(4) 評議員会の開催

- ・ 6月27日(19:00~21:00)、龍谷大学紫光館にて第1回評議員会を開催した(評議員12名中7名の参加があり成立)。
内容としては理事の変更、平成22年度の決算について協議があり、承認された。
- ・ 3月26日(13:30~15:30)、龍谷大学紫光館にて臨時評議員会を開催した(評議員12名中7名の参加があり成立)。
内容としては定款変更、社旗規程の改定について協議があり、承認された。

(5) 調査・研究・検証事業

○ 地域公共政策士共通プログラム策定委員会

機構の教育・研修部会内に「地域公共政策士共通プログラム策定委員会」を設置し、地域公共マインドの涵養やネットワーク形成を目的とする「共通プログラム(特別講義)」の

講義内容や配点方法を議論し、策定した。平成 23 年度の特別講義受講者は 5 名。

○ 京都における産学公連携就職支援のあり方についての調査・研究会

(京都経済同友会より受託)

・ 京都の中堅・中小企業と京都の大学生のマッチングを推進するために、どのような環境や制度整備等が必要なのかについて調査・研究を行った。

・ 新卒 1～3 年までの新入社員へのインタビューや大学生への中堅・中小企業への就職やイメージ等を意識調査を行った。

○ 京都府北部地域・大学連携機構（京都府より受託）

・ 8 月 9 日、11 月 14 日、12 月 19 日、1 月 25 日、2 月 24 日に京都府北部地域・大学連携機構（仮称）設立研究会を開催した。

・ 平成 22 年度の議論をベースに、京都府北部におけるプラットフォーム型の地域・大学連携を推進するため、4 つのパイロットプロジェクト（宮津バリアフリー観光、中丹広域消費者動向調査、地域コトおこし実践者講座、エコ観光）を実施した。

・ 平成 24 年 3 月 29 日には設立発起人会を開催した（その後、平成 24 年 4 月 17 日に一般社団法人として設立した）。

○ 観光分野における福祉人材育成プログラム研究会

(株式会社旅のお手伝い楽楽より受託)

・ 平成 22 年度、設計を行った「バリアフリー旅行士」の普及・推進のため、幅広い年齢層を対象とし、1～5 級までの体系立った資格制度の設計を行った。

○ 宮津市バリアフリー観光

(京都府「地域力再生プロジェクト支援事業交付金」)

・ 宮津市における新しい観光スタイルを提案するため、地元の自治体・大学・事業者などにより「バリアフリー観光推進協議会」を組織し、計 4 回の協議会を開催した。

・ 12 月、2 月にバリアフリー観光推進協議会主催でモニターツアーを開催した（12 月：株式会社旅のお手伝い楽楽、2 月：夢ツーリストきたみへ委託）

・ 龍谷大学キャップストーンプログラムとの協働のもとバリアフリー観光マップを製作した。

○ 中丹広域消費者動向調査

・ 中丹地域（福知山市、舞鶴市、綾部市）における消費動向のデータ分析等をするための中丹広域商業圏政策協議会を発足した（機構は事務局を務める）。

・ 計 3 回の懇談会、計 1 回の協議会を開催し、調査目的の検討、調査スケジュールの確

認等を行った。

○ エコ観光（京都府より受託）

・ 京都府北部地域における自動車に頼らない、公共交通機関と自転車を組み合わせたエコ観光の可能性を検証するため、研究員を2名雇用し、観光情報及び小水力発電による充電環境の整備状況について調査を実施した。

・ 計2回の協議会準備会、計2回のモデルルート部会を開催し、4つのモデルルートの設定を行った。

○ 地域公共人材の特性抽出研究（京都府より受託）

・ 平成22年度「京の公共人材」未来を担う人づくり推進事業採用の職員が有志で進めていた「地域公共人材の特性抽出研究」を継続、発展させ、地域公共人材に求められるマインド、スキルが診断できるツールの開発を行った。

（6）「地域公共人材育成プログラム」の京都版認証・評価

・ 社会的認証の手順、申請様式、規程等を収録した社会的認証にかかるハンドブックを製作した。

・ 訪問評価団を対象に評価員研修を平成23年8月に開催した。

・ 平成22年度に予備申請のあった京都産業大学「法政策基礎プログラム」、京都文教大学「文化コーディネーター」養成プログラムⅠ、同志社大学「キャプストーン」、龍谷大学「地域公共人材キャプストーン」の計6プログラムを対象に産官学民の委員により構成されるプログラム審査委員会、訪問評価団によって社会的認証を行った。

（7）「地域資格認定制度」の運用・資格付与

・ 第1種・第2種・キャプストーンプログラムを修了した学習者5名より申請を受け、「地域公共政策士」の認定（証明書の発行）を行った。

（8）研修事業

○ 福知山市市民参加型まちづくり推進業務（福知山市より受託）

・ 平成22年度に実施した「市民協働まちづくり検討会」での成果を受け、会議等をファシリテートできる人材育成のための「協働型ファシリテーター研修」及び市民と行政の協働による自治基本条例策定に向けて議論を行う市民協働推進会議を各々5回実施した。

・ まちづくりの先進事例を勉強するため、市民協働推進委員とともに三重県名張市への視察も行った。

○ 里の人づくり事業（京都府より受託）

・ 農山村・限界集落等の地域リーダー育成を目的とした「地域コトおこし実践者講座」を実施した。地域課題をテーマとした実践プロジェクト、プロジェクトの進捗を共有するグループワーク、受講者が学びたいトピック等を勉強するためのスキルアップ勉強会等を

行った。

- ・ 3回の講演会（6月、10月、2月）、3月には成果報告会を開催した。

○ エコ学区協働コーディネーター派遣事業（京都市より受託）

・ 地域ぐるみで環境活動に取り組む学区として選出された14のエコ学区において、地域住民が主体となり省エネやごみ原料の取り組みをはじめ、ライフスタイルの転換や地域力向上を図る事業を取り組みやすくするため、ファシリテーターを14名雇用し（上級コーディネーター、初級コーディネーター）、学区に派遣した。

・ コーディネーター研修やコーディネーター間の課題や状況の共有のためのコーディネーター連絡会を計3回開催した。

（9）「京の公共人材」未来を担う人づくり推進事業

- ・ 平成23年度は、23名を雇用した（1名は10月末に退職し、機構北部オフィスの事務局として採用した）。
- ・ 地域公共人材育成プログラムは、①資格教育プログラム ②実践研修 ③地域公共人材インタビューの3つから構成され、職員（一般職）はそのプログラムの検証を行った。詳細は、下記の通り。

①資格教育プログラム

京都産業大学、京都府立大学、同志社大学、龍谷大学が提供する8プログラムを受講し、各々の専門性を磨くとともに各プログラムにおける質向上のためのモニタリングを行った。

京都産業大学

- ・ 法政策基礎プログラム

京都府立大学

- ・ 政策能力プログラム（基礎）
- ・ 政策能力プログラム（応用）

同志社大学

- ・ 「食農政策士」履修証明プログラム
- ・ 「地域公共マネジメント」履修証明プログラム

龍谷大学

- ・ 地域政策形成能力プログラム
- ・ 〈つなぎ・ひきだす〉対話議論能力プログラム
- ・ 環境まちづくり能力プログラム

②実践研修

NPO等の現場に入り、組織運営や企画、プロジェクトマネジメントなどを学んだ。

〈研修先〉＊一部抜粋

- ・ 特定非営利活動法人働きたいおんなたちのネットワーク
- ・ 特定非営利活動法人ユースビジョン
- ・ 特定非営利活動法人プロジェクト保津川
- ・ 有限会社アイトワ
- ・ 合同会社おぶぶ茶苑
- ・ 京都産業大学
- ・ つくだ農園
- ・ 長澤農園

③地域公共人材インタビュー

地域社会で実際に地域公共人材として活躍されている方にインタビューし、ウェブ上でデータベースとして掲載した。平成22年度は、約60名にインタビューを行った。分野はまちづくり、農業、アート、子育て等、多岐にわたった。

- ・ 夏季には、京都府立ゼミナールハウスにて合宿を開催した。
- ・ 2月22日に「平成23年度「京の公共人材」未来を担う人づくり推進事業成果報告会～京都から未来を変える、地域公共人材22+1の視点～」を開催し、関係者に1年の成果報告を行った。
- ・ 平成24年3月18日に、第2回「地域公共人材フォーラム ～新しい公共と地域公共人材育成の今、そして未来～」を開催し、山田啓二京都府知事に基調講演をいただいた。
- ・ 一般職23名のキャリアデザインとしては、下記の通り。

〈キャリアデザイン〉＊一部抜粋

- ・ 起業（福祉、飲食等）
- ・ 株式会社 TREE
- ・ 特定非営利活動法人フェアプラス
- ・ 就農
- ・ 京都府（協働コーディネーター）
- ・ 守山市（政策推進マネージャー）
- ・ 大学院進学（同志社大学大学院）
- ・ 一般財団法人地域公共人材開発機構